



商工会報

# あち

第21号

発行 阿智村商工会  
43-2241  
編集 会報編集委員会  
印刷 龍共印刷(株)



## パソコン教室

# キーボードに触れて一喜一憂

「パソコンってなに?」「パソコンってなににするもの?」こういった声に応えるため商工会では、パソコン教室を開催しました。受講者は先生の一語一句を聞きもらすまいと耳を傾け、その姿には時代に遅れまいとする熱意が感じられました。

中小企業の経営・労務・財務・在庫等の管理に、パソコンが入り始め久しくなりますが、商工会では、今後、ますます普及が予想されるパソコンに、慣れ親しんでいただく為に、初心者向けのパソコン教室を六月二十五日・二十六日の両日開催いたしました。当初の予想を、はるかに越える参加希望者があり、二日間に分けて行ないました。



真剣な面持ちの受講者

聴講者は、画面に出る字や図、グラフに一喜一憂しながら熱心に聴講し、開始時の不安な様子は、帰り際には、パソコンのエキスパートになった面持ちで帰って行きました。この日の夕食は、きつとパソコンの話が中心で、お父さん、お母さんも、久しぶりに子供さんに自慢話をしたのではないでしょうか。

## 信金だより

▼平成三年度版中小企業白書が先頃発表されました。平成二年度の中小企業は、総じて堅調な推移の中にも人材難が最大の問題、としています。当地においても有効求人倍率は引き続き高原状安定となっており、各企業のご苦勞がうかがわれます。

▼人手不足対策には週休二日制や福利厚生施設、各種合理化・省力化投資がカギ、と各企業は取り組みを進めておられます。ここで資金需要が発生するわけですが、同白書では、景気拡大にともなう借入れ増加と金利高止まりにより資金コストが上昇した、としています。皆様のところではいかがでしょうか。

▼こんな事情によるものか、当金庫窓口では制度資金のお申し込みが急増しております。最近のまとめでは、県市町村制度とも、昨年同期比で数十%と、一般貸付の伸び率を大きく上回っています。

▼制度資金のお申し込みはお近くで便利なしんきんにお申し込み下さい。



通常総会

# 二十一世紀へ向けた事業を

第三十一回阿智村商工会通常総会が、来賓多数のご出席をいただき、去る五月十三日商工会館に於て開催されました。本年は特に、①商店街環境整備等大型店対策への取り組み ②工業の基盤整備と雇用問題対策 ③昼神温泉を核とした観光開発の研究 ④その他、時代に即応した研修等、二十一世紀へ向けての地域活性化事業が検討、議決されました。また、新役員への選任と恒例となりました永年勤続従業員表彰も行われました。

## 新役員の紹介

通常総会の席上、青年部長の虎岩良知さんが、任期満了により退任、後任に宮島芳章さんが部長に選任され、本会の理事に参画することになりました。

宮嶋さんは、市の沢で石材



宮嶋芳章氏

## 勤続表彰受賞の皆さん

- ▼南信土木建築(有) 細江美奈人(二十年) 宮沢卓次(同) ▼ アイカユニオン産業(株) 熊谷久志(十五年) 田中久志(同) 渡辺昭弘(同) 吉沢隆司(同) ▼(有) 小笠原鉄工 村上茂人(十五年) ▼(有) 阿智工務店 芦沢忠志(二十五年) 佐々木要人(二十年) ▼(株) 昼神グランドホテル 大山覚(十年) 熊谷保恵(十年) ▼(株) 湯元ホテル 阿智川 細江ませ子(十五年) 唐沢祥平
- (五年) 唐沢明子(同) 伊藤友信(同) 樋屋善人(同) ▼ 大月組 安川茂邦(十年) 古田年見(同) ▼ 林建築所 田中友弘(十年) 熊谷正美(同) ▼(有) 春木屋本店 福本龍温(三十五年) 塩沢幸一(同) 大沢清孝(二十五年)

以上の方々です。今後とも、健康に留意されて企業のため、阿智村のために頑張ってください。

## 企業探訪

No.19

### 有限会社クロスアート

梅雨も中休みの6月半ば、国道153号線沿いの阿智村が一望できる小高い所にある会社へおじゃまして、お忙しい中、尾沢社長さんにお話を伺って来ました。

- <代表者> 代表取締役 尾沢 喜人
- <創業> 昭和55年1月
- <資本金> 880万円
- <従業員> 30名(男5名、女25名)
- <業務内容> 高級婦人服縫製
- <主な取引先> (株)イトキン(トリコーサ、クリスチャンオジャール)、(株)カタセ(レリアン)、(株)創作屋服飾研究所(ピエールバルマン)

昭和55年1月に、春日の社長自宅横のえのき小屋を借り、改造し、4人で縫製工場を始めたそうです。ニット関係が不況の時期でしたので、裸一貫で始めた会社だから1年くらいはたいへん苦しかったと、笑っておっしゃっていました。

昭和56年に業務拡張のため、移転、59年には現在の場所へ工場を新設しました。

今は国道153号線の拡張工事のため、駐車場だけになっていますが、テニスコートもあったそうです。

現在、日本の最高級ブランドの婦人服の縫製をしており、平成2年10月に有限会社尾沢縫製から、芸術化企業を目指すことを目的に、有限会社クロスアートと社名を変更したそうです。工場をアトリエ方式に変えること(肉体労働から知的産業へと移行)……思い入れは大きいそうです。

お話をお聞きした後、工場内を案内していただきました。人の技術を大切に、1人でも多くの優れた技術者を育てるために、2人で一着の洋服を縫製しているそうです。

女性の多い企業、男性の多い企業が隣合せにあり、福利厚生施設を共同で持てる様な工業団地ができれば……等、社長



仕上がった高級婦人服

さんの構想はどんどん広がっていきます。

## 商工会報ファイルのご利用を

皆様のお手元に、商工会報をお届けして、本号で二十一号となりました。そこで、会報を永く保存していただく為に、商工会報専

用の保存ファイルを、会員の皆様に差し上げますので、本号より保存をお願いします。また、商工会報の一号から二十号まで残部が若干ありま

すので、ご希望の方は商工会事務局まで、お申し込み下さい。



シリーズ 我が家の秘蔵写真 第九回



店舗前の売り出し風景 (大正10年代)



時代がしのばれる景品の数々

大坂屋さんの当主、茂沢利治さんのお母さんに、お話を聞きました。  
大坂屋さんは、古くは寺小屋の先生をやっておられたそうです。代々料理屋さんを経営しており、隆盛だったこ

ろ、阿布知神社へ燈籠を二基寄贈されたそうです。  
大正六年、現在の農協駒場支所の所で、醤油を仕込み、三年寝かせてから、醤油屋を開業。写真は当時の記念福引売り出しで、景品にシャベル、

じゅうのう、ざるなどが並んでいます。  
戦争で豆などの材料が入らなくなり、醤油屋もやめました。  
昭和二十年頃、駒場にあった長野相互銀行の当時の支店長さんに食堂をやらないかと勧められて、うどんと生蕎麦だけの食堂を始め、二十二年から夏の間は、アイスキャンデーを一晚中御主人と交代で作って売ったそうです。アイスキャンデーが五円、蕎麦が

四十円。アイスキャンデーは砂糖のない時代でしたので、おもしろいほど売れたとおっしゃっていました。  
三十四年頃は村に食堂が三軒しかなかったこと、バスの発着所が松井さんの所にあつたこと、道路も駐車禁止でなかったこと、とても毎晩がにぎやかでした。  
毎日が忙しかつたけれど、商売をやっていて楽しかったと、昔なつかしく思い出して話して下さいました。

新緑の春を満喫して  
宮嶋泰子  
商工会婦人部の行事の一つとして、恒例のマレットゴルフ大会が、五月二十七日の月曜日に木槌の森マレットゴルフ場で行われました。  
三・四人で一チームを作りプレー開始。ホールを指して一打、二打と打ち進み、ホールまであと一打かな？という所で、三打から五打うち、そうなれば最後はやくそくなって打って、入って大はしゃぎ。  
山々の草木などを見ながらホールからホールへ登ったり下ったりする事も楽しみの一つです。  
途中でひと雨降ってきて心配しましたが、最後までプレー出来てよかったです。  
成績は、七十二打で征矢かつ子さんが優勝。私の成績はあまりよくなくてはずかしいのですが、参加者二十一名全員の健闘を拍手で喜び合いました。  
私はマレットゴルフ大会には三回程出席しましたが、初めてお会いする方々とマレットゴルフを通じて親睦を深めることができ、嬉しいです。



視察研修

# 我が村の街づくり

## 役立てば

青年部

青年部では毎年恒例となつている、視察研修会を六月九日・十日に一泊二日の旅行を兼ねて実施しました。

第一日目は、一路京都へ向い、観光を中心に、市内を見物しました。

一日目の予定を終え宿泊地の神戸市有馬温泉へ到着しました。

地元、昼神温泉と同様、派手な看板のない静かな温泉街の有馬温泉も、日曜日とあつて、大変賑わっておいりました。

二日目の視察に備え、夕食の後は全員静かに(?)床に就きました。

朝食後、小雨の降る中、有馬温泉を出発し、神戸市内へと向かう途中、全国的にも有名な神戸・異人館を見学しま



エキゾチックな気分酔いしれて

規模こそ違いますが、これからの阿智村の街づくり又は、商店街の活性化に役立てればと考えております。

した。

落ち着いた佇まいの洋館の中を歩いていると、時代を忘れてしまいそうな感覚になりました。

異人館より、徒歩にて市内まで下り、昼食後は、いよいよ神戸・三宮(さんのみや)センター街二丁目商店街の視察研修を行いました。

JR、阪急、阪神他、五つの駅が集中している三宮は大変賑わっており、商店街の中もかなりの人通りがありました。

視察した部員も、商業関係の方は、各商店の商品の陳列等を、工業関係の方は、ガラス製吊り屋根式のアーケードや、天然石を使用したカラー舗装の道路等を熱心に見てお

# 珠算検定合格おめでとう

六月九日(日)商工会館において、第八十八回全国商工会珠算検定試験を行ないました。今回の受験者は百一名。

合格者は二十四名、合格率は二三・八%でした。

一級 勝野咲子 佐々木志穂

二級 原美和子 水野梢 原愛子

三級 原智恵美 林摩美子 小笠原和美 石原美穂 井原亜矢子

原晃子

四級 久保田知則 桜井正哉 倉田勝 石原恒平 下原裕美 熊谷めぐみ 園原恵

五級 石原竜太 笹真弓

原洋平

六級 松井隆佳 内田美和 安藤めぐみ

次回の検定試験は、十一月十七日です。

## 一級合格の二人



勝野咲子さん



佐々木志穂さん

# 食品衛生協会からお知らせ

食品衛生協会阿智支部から今後の日程についてお知らせいたしますので、該当の方は準備をお願いします。

☆七月十一日(木)

保健所係官による村内事業所の立ち入り検査

①自主管理手帳の記帳、整備②サンコリテップによる自主検査および記録③廃棄処理

と清潔保持④手洗所の清掃⑤手洗器と各種洗剤、薬品の保存管理等。

☆七月二十六日(金)

営業許可証書替更新手続と阿智支部総会、保健所講習会

営業許可証の期限満了による書替(午前中)阿智支部総会と保健所による食品衛生講習会(午後)

# 編集後記

九八年冬期五輪の開催地が長野に決まった。

国、全県挙げての招致活動の成果であつて、一部に反対はあるものの喜ばしいことである。

七年の間に、参加各国の要望にこたへうる長野として施設整備はもとより、住民意識の面から国際社会の一員としての心構えが大切なことは言うまでもない。折良く本村に外国青年語学講師が来ることに決まった。

現在中学生も七年先には大学生か、立派な社会人である。子供に夢をもたせ、国際人としての意識をもたせる絶好のチャンスである。

そういった面での期待は大きい。村の商工観光業振興条例が議会の所管常任委員会の審査を経て、議会にかけられるべく検討されている。

商工観光発展のため行政としての適切な対応を定めた条例として制定されるのも近いことと思われ。

編集委員長 園原峯正